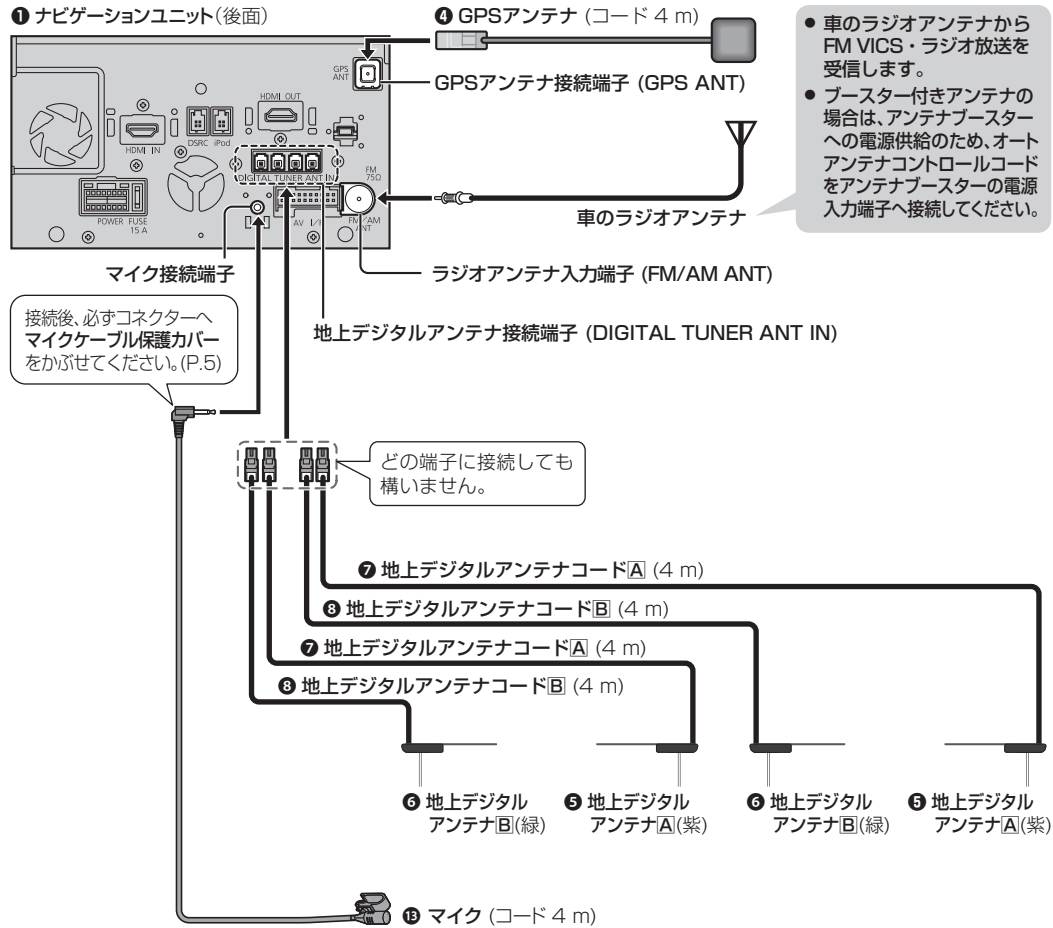


# 配線のしかた(続き)

## アンテナ/マイク



- 車のラジオアンテナからFM VICS・ラジオ放送を受信します。
- ブースター付きアンテナの場合は、アンテナブースターへの電源供給のため、オートアンテナコントロールコードをアンテナブースターの電源入力端子へ接続してください。

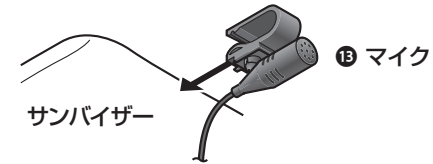
# マイクの取り付けかた

- 発声する人の口元から20 cm~40 cm離してください。マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因になります。
- 必ず、付属のマイクを使用してください。

## サンバイザーに取り付ける場合(推奨)

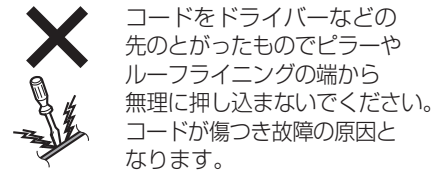
### 1 マイクをクリップで取り付ける

- 認識率がよくなるように、サンバイザーの適切な位置に取り付けてください。
- 無理に取り付けると、クリップが破損する場合があります。



### 2 コードを引き回す

例) ピラーの内側に配線する場合



### ピラーのカバーを取り外す

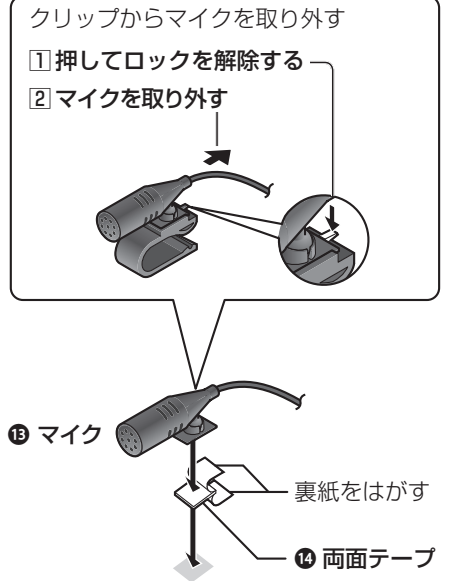
- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

## ステアリングコラムカバーなどに取り付ける場合

### 1 マイクを両面テープで取り付ける

- 運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- なるべく車のスピーカーから離れた位置に取り付けてください。



### 2 コードを引き回す

- 運転や乗り降りの妨げにならないように、コードクランパーでコードの要所を固定してください。